

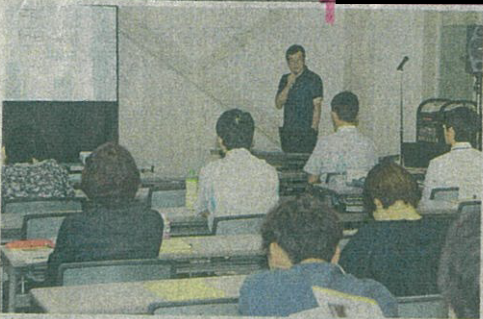
県内2社が事例紹介

デザインこだわり
商品価値高めよう

秋田市、50人が参加

商品開発とデザインの関係をテーマにしたセミナーが5日、秋田市の秋田地方総合庁舎で開かれた。県内企業の経営者らが講演。販路拡大や売

り上げの回復につながった
自社の経験を基に、デザイン



商品開発におけるデザインの
重要性を学んだセミナー

を工夫する重要性を強調した。

業務用あんこの製造などを手掛けるかどや食品工業（仙北市）の高橋陽一さん(47)は、昨年発売した甘納豆の開発経緯を説明。パッケージについてデザイナーとやりとりする中で、商品のターゲットやアピールポイントなども整理できたとし、「デザインを考慮することで商品価値が高まり、販路拡大につながった」と振り返った。

仏壇仏具製造の新平堂（湯沢市）の高橋恒一社長(59)は、家具と仏壇のどちらにも使える新製品「en・sou（えんそう）」について紹介。シンプルなデザインが好評で、売り上げが回復し始めたとし「自社の技術に自信を持つきっかけになった」と話した。セミナーは、県地域産業振興課の主催。県内の企業関係者ら約50人が参加した。